



日本・ポーランド国交樹立  
100周年記念事業  
(1919~2019年)

朗読と交流の会 テーマ

私のポーランド

第9回

# 「午後のポエジア」

詩の朗読、音楽、映像、語り。ポーランド人&日本人によるパフォーマンス！



世界遺産登録「ワルシャワ歴史地区」

2019 **6 / 1** (土) 14:00 ~ 17:00

北海道大学クラーク会館 3F 大集会室 2  
(札幌市北区北8西8)

入場無料、予約不要、どなたでも参加できます

第9回目となる「午後のポエジア」。今回は日本・ポーランド国交樹立100年を記念して、日本人とポーランド人の出演者がポーランドへのさまざまな思いを自由に表現します。改めてポーランドを見つめ直してみませんか。

第一部 ポーランドの絵本の紹介、古今の詩(ヘルベルト [生誕95年]、シンボルスカ、ミウォシュ、トゥヴィム [生誕125年]、スウォヴァツキほか) やショパンに思いを寄せる自作詩の朗読など

第二部 楽器の演奏や歌・踊りをまじえ、ポーランドの雰囲気を楽しめます。飛び入りも歓迎

交流会 スナックや飲み物で自由な交流をお楽しみください。

共催  ポーランド広報文化センター  
INSTYTUT POLSKI TOKIO

後援  公益財団法人札幌国際プラザ  
Sapporo International Communication Plaza Foundation

# 午後のポエジア



## プログラム

### <第1部> 14:00 ~

#### A. ぼくの、わたしのポーランド

ポーランドの絵本から

熊谷敬子

「ブロニスワフ・ピウスツキ」カタジナ・ノヴァク作(松家仁訳)

尾形芳秀



#### B. 対訳で楽しむポーランドの詩

ユリウシュ・スウォヴァツキ(ポーランドロマン派三大詩人の一人、1809-49)

「頌歌」(工藤正廣訳)

ミハウ・マズル & 菅原みえ子

ヴィスワヴァ・シンボルスカ(ノーベル賞詩人、1923-2012)(つかだ・みちこ訳)

『橋の上の人々』から「可能性」

レナータ・シャレク & 氏間多伊子

ズビグニェフ・ヘルベルト(1924-98)(栗原成郎訳)

「想像力という小箱」

エヴァ・コヴァルスカ & 松山愛羅

「事物たち」ほか

バルバラ数井 & 松山莞太

#### C. 私のポーランド

チェスワフ・ミウオシュ(ノーベル賞詩人、1911-2004)

「私の忠実な言葉よ」(鳥居晃子訳)ほか

村田譲

ユリアン・トゥヴィム(1894-1953)

「一、二の、三」

シルヴィア・オレーヤージュ & 佐藤レミリア

「蒸気機関車」

ラファウ・ジェプカ

自作詩「ショパンと私」

長屋のり子

### 休憩 15分

### <第2部> 15:15 ~ ポーランドコーナー

語りと演奏(電子ピアノ)

~どこか懐かしいポーランド音楽~

徳田貴子

ポーランド人のポーランド

ギターと歌

アダム・ミツキェヴィチ詞 / マレク・グレフタ曲「不確実性」バルバラ数井

スライドショー

~私のポーランド~

「ポーランドの花」

レナータ・シャレク

「ポーランドの知られていない町」

ラファウ・ジェプカ

劇

「おおきなかぶ」

エヴァ・コヴァルスカほか

飛び入りコーナー

みんなで弾いて歌って踊って...

「森へ行きましょう」

### <交流会> 16:00 ~ 17:00

